

意見交流会

各グループで交流された意見の抜粋です。

(○:大学生, ◇:大学生以外の参加者)

テーマ①:活動を通して嬉しかったことややりがいに感じていること

子どもに関すること

- 子どもからの「また来てね」という言葉が嬉しく、励まされる。
- 子どもたちが日々成長していく姿を見るのが嬉しい。
- ◇ 学生さんが来ると子どもたちは、喜ぶ。
- ◇ 子どもたちが次の活動を楽しみにしている。

大学生自身に関すること

- 達成感がある。
- 反省点が減ってきた。
- 何度も活動をする中で、スキルアップすることができた。
- 地域とのつながりができた。
- 準備をする中で、知識が増える。

テーマ②:子どもと接する中で困ったこと、また、改善したこと

活動内容に関すること

- 説明をするとき、低学年にはクイズ形式をとった。
- 活動のはじめにレクリエーションを取り入れ、遊びを通して子どもたちとの友好関係を広げている。
- 子どもと学生のみではなく、教室スタッフの方も一緒に体験してもらいたい。
- ◇ 大学側でも、ポスターセッションを行って、参加者を増やすべきだ。
- ◇ 子どもたちに授業ではない、楽しい工作や理科を伝えてほしい。

子どもに関すること

- 子どもによって、作業のペースに差があるとき。
- 活動をしたくないと言う子どもへの対応。
- 子どもの叱り方。
- 人を傷つけることや命にかかわる時にはしっかり叱るようにしている。
- ◇ 子どもをほめたり、いいところほめると良い。

大学生自身に関すること

- 教室スタッフから、意見をもらう時間があると良い。
- ◇ 困ったときに自分で何とかしようと思わないで、どう対処したら良いかをスタッフに相談すると良い。